

転職サービス「doda」、「転職市場予測 2024 下半期」を発表

## 15 分野のうち 12 分野で求人数増加・好調を維持の予想

～少子高齢化による労働不足解消のため、転職市場は活況の見通し。  
EV 自動車の生産や DX 推進に欠かせない半導体需要も採用ニーズを後押し～

パーソルキャリア株式会社が運営する転職サービス「doda (デュダ)」(編集長：桜井 貴史) は、「転職市場予測 2024 下半期」を公開しました。詳細は、< <https://doda.jp/guide/market/> > をご確認ください。



<解説：doda 編集長 桜井 貴史>

### 2024 年下半期の転職市場予測：

**慢性的な労働力不足に加え、半導体需要やインバウンド影響などを受け、12 分野で求人が増加・好調を維持**

2024 年下半期の転職市場全体における求人は、今回取り上げた 15 分野 (7 業種、8 職種) のうち、**12 分野で【増加】【好調を維持】**と予想しており、引き続き転職の機会が広がる見込みです。

求人増加 (8 分野) : 電機・機械、金融、化学・素材、食品、営業、人事、法務、販売・サービス

好調を維持 (4 分野) : IT・通信、不動産・建設、経理、クリエイティブ

横ばい (3 分野) : メディカル、企画・マーケティング、事務・アシスタント

これまで求人数の増加を後押しする一因であった、コロナ禍からの「リバウンド需要」は落ち着くものの、以下の要因から、多くの分野で求人が増加・好調を維持すると思われる。

- ① 少子高齢化による慢性的な労働力不足で、採用に積極的な企業が多いこと。
- ② 新卒採用だけでは十分な人数を採用しきれず、中途採用の枠を増やす対応を行う企業が増えていること。

さらに、EV 自動車を筆頭とした自動車の生産や、情報通信技術を駆使した DX 推進を進める上で欠かせない半導体の生産強化に伴う求人増加も予想されます。日本企業だけでなく海外企業も日本国内に生産拠点を新設しようとする動きがみられるため、今後、研究開発職のほか、製造プロセス、品質管理、製造オペレーターなどのエンジニア需要が高まるほか、工場の新設に関連する不動産・建設業界の人材ニーズも増える見込みです。

分野別に採用トレンドをみると、「販売・サービス」分野では円安によるインバウンド需要が影響し、旅行代理店や宿泊施設、百貨店などで業績が好調なことなどを受け、採用ニーズが拡大する傾向が見られるでしょう。「IT・通信」分野では 2025 年問題の対応も含む DX ニーズの高まりから、引き続き好調を維持すると予測します。

## 2024年下半年の企業動向予想：個人が望むはたらき方やキャリアを叶える環境づくりがさらに進む

売り手市場に伴い、企業間での人材獲得競争は激化しています。そのため、企業は採用に注力するだけでなく、社員満足度を高め、定着率向上（離職防止）を図る動きが活発化していくでしょう。具体的には次のような工夫がみられます。

### ① はたらく時間と場所の選択肢を広げる

はたらく時間を調整しやすいよう「時差出勤」や「フレックスタイム制」を採り入れる企業が増えています。コロナ禍の収束を受け、一部では入社回帰の動きもみられますが、リモートワークと出社をあわせた「ハイブリッドワーク」を継続し柔軟に勤務形態を選択できる状態にするなど、はたらきやすい環境づくりが進んでいます。

### ② 社内異動やスキルアップの機会を提供する

近年キャリアの選択肢が多様化してきたことで、社内異動や副業を通じて自分の望む経験や新しいスキルを身に着けたいと考える人も増えてきています。そのため、企業は社内で希望する部署への異動ができるような「FA制度」を導入したり、副業制度を整えたりと、個人が望むキャリアや経験を積めるような環境整備を進める動きがみられます。

### ③ 評価制度や中途採用時の提示年収を見直す

経験豊富な人材を獲得するため、即戦力として活躍が期待できる転職希望者には現職よりも高水準の給与を提示する企業が増えています。また、在籍年数などにとらわれず実力や結果を重視する評価制度を採り入れることで、モチベーションアップを図る動きも見られます。

今後ますます労働人口が減少することを加味すると、人材獲得競争が続くことが予想されます。個人が望むはたらき方やキャリアを叶えられる環境づくりに工夫を凝らす企業が増えていくのではないのでしょうか。

各業界の2024年下半年の転職市場の動向については、< <https://doda.jp/guide/market/> > を参照ください。

### 解説者プロフィール doda編集長 桜井 貴史（さくらい たかふみ）

新卒で大手人材会社に入社し、一貫して国内外の学生のキャリア教育や就職・転職、幅広い企業の採用支援事業に携わる。2016年11月、パーソルキャリア株式会社に中途入社。同年、株式会社ベネッセホールディングスとの合併会社、株式会社ベネッセ・キャリアに出向、新卒オファーサービス「dodaキャンパス」の立ち上げを牽引し、初代dodaキャンパス編集長に。その後、同社 商品サービス本部 本部長として、キャリア講座やアセスメントをはじめとした、大学生向けサービスの責任者を務める。2023年4月、doda副編集長 兼 クライアントP&M本部 プロダクト統括部 エグゼクティブマネジャーに就任し、法人向け採用支援プロダクト全体を管掌。2024年4月、doda編集長に就任。サービスを通じてこれまで約60万人以上の若者のキャリア支援に携わり、Z世代の就職・転職動向やキャリア形成、企業の採用・育成手法に精通している。



#### 【データ利用について】

引用・転載の際は、出所が転職サービス「doda」であることを明記し、Webメディアの場合は以下のリンクを張ってください。

転職サービスdoda「転職市場予測2024下半年」 < <https://doda.jp/guide/market/> >

#### ■ 転職サービス「doda」について < <https://doda.jp> >

「doda」は、「はたらく今日が、いい日に。」をスローガンに、転職サイトや転職エージェント、日本最大級のdoda転職フェアなど、各種コンテンツで転職希望者と求人企業の最適なマッチングを提供しています。